

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別活動室、集団活動室、デッキ、庭等に分かれて活動。状況に合わせて建物内の空き部屋も活用。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準職員数だけでは対応しきれない為、プラスで職員を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関スロープやトイレの手すり等は設置しているが対応しきれない面も否めない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員間で日々実施する仕組みはあるが、日々の支援を優先する中で計画通りには進まない部分もあった
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		伝えやすさを考慮し、日々直接顔を見て意向を確認し改善に取り組むも広いきれてない部分もある
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			放課後連の研修や支援の質を上げるための研修に職員が参加し、事業所間で共有している
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		新規利用者を中心に活用を試みているが手探り状態で使いこなしているとはいえない
適切な 支援の 提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者が立案し、チームで検討している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化した方が良いと判断した場合以外は工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画に基づいて支援している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			リラックスや基本的の日常生活動作習得の為の個別活動、少人数グループの集団活動を組み合わせている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録の重要性は理解しているが、支援の検証・改善につながる内容かどうかは課題がある

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか			○	コロナ禍により地域交流の経験が十分に行われなかった	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本は児発管が参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて日々連絡を取り合い、学校が夏季休暇には支援方法を相談する機会を作っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		非該当			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				児童発達支援事業所を訪問。対象児童の様子を見学。情報共有と相互理解を実施した
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		学校が主催の移行支援会議等に参加することがある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		研修を受講している。必要に応じて助言を求めている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				浜北・天竜エリア連絡会の全体会構成員を担い、ネットワーク構築が目的の研修会に参加
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				保護者との良好な関係を構築する為、日頃から話しやすい雰囲気づくりに努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				利用契約時に説明を実施。運営規程が玄関に掲示している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか					日頃のやり取りを通じて心配事を共有し助言や可能な範囲で配慮している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者からも保護者同士の活動や連携を望む声があり、保護者主体の活動も行われている

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口、苦情解決責任者を配置する等対応体制をとっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人発行の通信で活動の様子や今後の予定を発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもの特性に合わせて絵カードや写真等を活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍前は実施していたが今年度は実施せず
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			防災マニュアルを各家庭に配布。感染症は現状に合った対応方法を書面で配布
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を定期的実施。災害用伝言ダイヤルを使用した連絡訓練を実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人全体で虐待防止をテーマに研修を実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			不穩時対応の為に個室で過ごしていただくことをお伝えし、サービス計画にも記載している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			個別面談にてアレルギーの有無を確認の上、必要に応じて対応
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			